

CAMPUS COMMUNICATION

CELERY

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌【セロリ】

2012

10 October

No.85



[特集]
学生企画の商品

①「マンゴーの至福～3度のしあわせ～」 ②「柚子味噌そばろおむすび」

セミナーハウス「ほくさん」20周年



第46回「霜月祭」実行委員長

小峠 拓也さん

中村学園大学 栄養科学部3年生

受け継がれてきたチームワークで、「霜月祭」を成功に導きたい。

11月1日から3日間にわたって開催される
中村の学園祭「霜月祭」。

小峠さんは、およそ700名が在籍する実行委員の
まとめ役として忙しくも充実した日々を過ごしています。

心強い仲間がいるから 不安はない

いよいよ中村の学園祭「霜月祭」が始まります。第46回を迎えた今年の「霜月祭」のテーマは『ビタミンN〜colorful road〜』。NはNippon、Nakamuraの頭文字で、今(Now)こそ中村から日本全国に元気を発信しようという思いで考えました。そして、学生みんなの今後の進路は多彩であることからcolorful roadというサブタイトルを付け、全体でビタミンNという意味を意識しながら、未来に向かってそれぞれの道を歩んでいこう、という気持ちを込めました。

「霜月祭」の実行委員会は毎年1、2年生を中心に活動しており、通常は実行委員長も2年生から選ばれることになっています。私も昨年で活動を終える予定に

していましたが、自分が中心になってもっと良い「霜月祭」にしたいという思いを強く持ち、3年生ですが今年度の実行委員長になりました。

実行委員長に決まった当初は、学業と両立できるだろうか、700名程の実行委員をまとめることができるだろうかという不安がありました。月日が経つにつれ、その不安は少なくなってきました。それは、総務、ステージ、総合企画、総合製作など8つのパートのパート長がグループをしっかりとめてくれているからです。私は「霜月祭」の開催に際して、全ての進行状況を把握する役割を担っていますが、今は頼もしい仲間がいるから安心していられます。

CONTENTS

01 チャレンジするナカムラ生
第46回「霜月祭」実行委員長

03 【特集／学生企画の商品1】
マンガの至福
〜3度のしあわせ〜

05 【特集／学生企画の商品2】
柚子味噌そばのおむすび

07 東日本大震災
災害ボランティア活動報告

08 活躍する卒業生

力を合わせて挑戦することの 大切さを学んだ

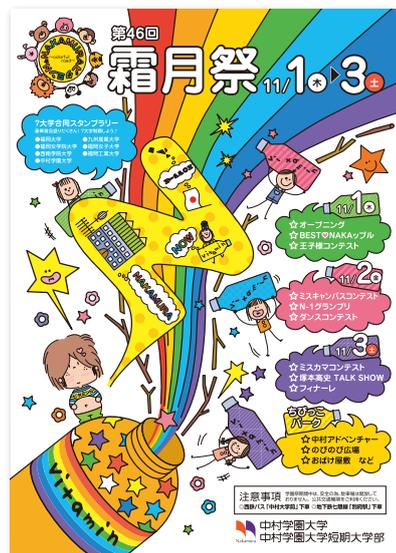
実行委員会の人々とは、まさに強い絆で結ばれた「同士」です。このようなチームワークの良さは、中村の伝統ではないでしょうか。これまでの実行委員会で多くの先輩方が培ってきた「一つの目標に向かっていく団結力」は、中村に脈々と受け継がれてきたものだと感じています。もちろん、いろんな考え方もあったメンバーがいますので、意見の相違からスムーズに事が運ばないケースもあります。しかしそれも、「霜月祭」を成功させようというみんなの思いが強いからだと思っています。

私自身、実行委員長になって良かったと思う点はいろいろありますが、その一つは交友関係がさらに広がったことです。キャンパス内を少し歩いただけで、すぐに声を掛けてくれる学生がこの一年でぐっと増えました。学部や学年の壁を越えた仲間たちのおかげで大学生活が豊かになり、力を合わせてチャレンジすることの大切さも学ぶことができました。また、実行委員長としてイベント協賛のお願いなどで企業や地域の方々とお会いすることが増え、普段あまり接する機会のない社会人の方々とも触れ合えたことも、自分の成長に繋がっていると感じています。私にとって「霜月祭」は、大学生活で最も情熱をそそぐことのできる場です。学内外問わず多くの方々に支えられて成り立っている「霜月祭」なので、大いに盛り上がるものとなるよう、最終日の最後のイベントまで精一杯頑張ります。

《「霜月祭」を成功させるために、実行委員は一致団結！》



授業が終わった後に集まり、それぞれが意見を出し合いながら準備を進める実行委員会のメンバー。「霜月祭」が近づく、ディスカッションや作業は深夜にまで及ぶこともある。



キャンパス内ではさまざまなイベントが開催され、賑やかな3日間となる。

CELERY

中村学園大学・中村学園大学短期大学部
広報誌【セロリ】

2012.10 October

No.85



09

わがゼミ案内
短期大学部 キャリア開発学科
浦川 安宏ゼミ

10

クラブ&サークル
空手道部

11

セミナーハウス「ほくさん」
20周年

12

EVENT and NEWS
・学内外のイベント
・教員の出版物
・教職員の動き

流通科学部 [商品開発プロジェクト]

人気ケーキ店での商品化が実現 「マンゴ어의至福 ~3度のしあわせ~」



宮崎産アップルマンゴー、メキシコ産アップルマンゴー、フィリピン産ヘリカンマンゴーの3種類をミニサイズのロールケーキに。中にも上にもたっぷりマンゴ어의果肉が使用されています。スポンジには、親しみを感じてもらえるよう、スマイルマーク。

流通科学部の後藤ゼミでは、企業における商品開発の重要性とその手法について学んでいます。実際に調査をして企画書を作成する活動を通して、企画力やプレゼンテーション力の習得を目指しています。

昨年(3年次)の課題として、各自、関心がある分野・企業に向けた新商品の企画立案を行いました。その中の一つである4年生の中尾真由美さんの企画したロールケーキ「マンゴ어의至福」3度のしあわせ」が、人気ケーキ店であるVISAVIS(ヴィザヴィ)で商品化され、7月17日・19日の2日間、VISAVIS全4店舗と本学ベーカリーショップ・アステックスで限定販売されました。

約450セットを販売し、2日間ともに各店舗盛況でした。なお、収益は西日本新聞民生事業団を通じて東日本大震災被災地支援のために寄付されています。

Comment 1

学生の夢を
叶えたかった。

津島清次さん

(株式会社シークス[VISAVIS]代表取締役社長)



最初にお会いした時には、3種のマンゴ어를食べ比べてみようという発想は素晴らしいと感じましたが、価格や収穫時期が異なるマンゴ어를どのように商品化するかなどの問題があり、もう少し頑張つて欲しいとお伝えしました。ただ、中尾さんと後藤先生の、どうしても商品化したいという気持ちの強さは、私の心に響きました。

それから中尾さんの頑張り、後藤先生の力強いサポートもあって、後日、商品化することを決めました。私どもは、中尾さんの夢を実現

するためにできる限りのバックアップをさせてもらおうと、今回は材料費のみをいただき、利益は得ないことにしました。

中尾さんは、とても貴重な経験をしたことで自信もついたと思います。来春より商品企画部門もある会社に入社されるということで、社会人になっても商品企画をする機会があれば、いかに利益を生む商品を作るか、ということに、妥協せずに追求して欲しいですね。なかなか難しいことですが、中尾さん自らの力で道を切り開いて欲しいと思います。



完成した商品を手に微笑む中尾さん。「多くの方が買い求めてくださる姿を見て嬉しかったです」。





中尾さん(中央)、後藤講師(左)、津島社長(右)、それぞれの思いが実を結んで商品化が実現した。



プレゼンテーション時の様子。自作のケーキを持参して「食べ比べ」のコンセプトをアピール。



ケーキ製作の手伝いに来てくれたゼミ生の仲間。「みんなの協力がなかったら目標は達成できませんでした」と中尾さん。



Comment 3

多くの方のご協力に感謝。

後藤 恵美 講師



は、少々厳しいご意見を津島社長からいただきましたが、中尾さんは、就職活動で忙しい中、いただいたご指摘を調整する努力をしてくれ

ました。そして複数回のプレゼンテーションを経て、商品化を実現できました。ゼミの学生から出されたアイデアが商品化されたのは今回が初めてのケースです。中尾さんの事例は、後輩のゼミ生や学部の学生たちにも刺激になっています。企画して終わりではなく、その先が実現したことで、学生たちの中に、私も頑張ろう、という意識が芽生えたように感じます。

中尾さんの企画は着目点が面白く、またゼミ生みんなの反応も良かったので、ぜひ商品化に向けて企業に企画提案しようということになりました。そして産学連携支援機関である福岡ビジネス創造センターを通じて、VISAVIS様にコンタクトを取らせていただきました。初回のプレゼンテーションで

津島社長をはじめVISAVISのスタッフの方々、福岡ビジネス創造センター様には本当に感謝しています。ありがとうございました。

Comment 2

商品化が実現して良かった!

中尾 真由美さん

(流通科学部4年生)



嬉しいという思いと、もっと頑張りたいという思いが交差しました。

販売当日はとても緊張しましたが、お買い求めいただき食べてくださった方からは、「食べ比べで良かった」「宮崎県産マンゴーが甘いかな」「デザインが可愛い」など、いろいろなありがたい感想をお聞きし、商品化が実現して良かったと実感しました。

食べてみたいけれどもなかなか食べる機会が少ない食材というところでマンゴーを選びました。1個買うと高いけれど、一口ずつでも食べ比べてみたいと感じたことをきっかけに、ロールケーキと3種のマンゴーを組み合わせたことにしました。プレゼンテーションを経て、今年6月に商品化

が決まった時には、嬉しいという思いと、もっと頑張りたいという思いが交差しました。良い商品に仕上げなくてはいけないという思いが交差しました。

栄養科学部[おむすびレシピコンテスト]

優秀作品に選ばれコンビニで販売 「柚子味噌そぼろおむすび」



「柚子味噌そぼろおむすび」
120円の価格で、11月20日前後までポプラで販売中。

ボンカレーをはじめ私たちになじみの深い商品を販売している大塚食品株式会社とコンビニエンスストアを展開している株式会社ポプラが共同企画として、管理栄養士・栄養士を目指す学生を対象に新商品のコンテストを実施しました。コンテスト名は「おむすびレシピコンテスト」で、大塚食品株式会社が販売するこんにゃく加工品「マンナンヒカリ」を使用したおむすびのレシピを考案する企画です。

栄養科学部の大部ゼミでは、このコンテストのためにゼミ生15名が30種類のおむすびを考案。学内で試食を行い6品に絞ってコンテストに参加しました。その中から4年生の若狭恵子さんの作品が見事、優秀作品に選ばれました。各大学から集まったおむすびレシピ約300点の中から商品化されることとなった優秀作品は4品のみです。

若狭さんが考案したおむすびは「柚子味噌そぼろおむすび」。去る10月23日より中国・四国地方、そして九州のコンビニエンスストア・ポプラで販売されています。販売期間は約1カ月ですので、ぜひお買い求めいただき、その美味しさをお確かめください。

Comment 1



季節感を感じる
素晴らしい作品。

春日 淳嗣さん

(大塚食品株式会社 福岡支店)
(福岡営業所 課長補佐)

私自身、歴史ある中村学園大学さんとは、ぜひとも一緒に仕事をしたいと常々思っていました。教授であり福岡県の栄養士会会長もされている大部先生には、2年ほど前から大変お世話になっていることもあり、この企画の話があった2月の段階ですぐにご連絡させていただきました。

コンテストを行ったのは6月で、約10人の選考委員で商品化する優秀作品4品を選びました。若狭さんの作品がその中の一つに選ば

れたのは、コンテストが夏だったにもかかわらず、発売する秋を意識して柚子を使われていたこと。それに多くの人に受け入れられる味噌や鶏肉を食べる文化がある九州ならではのそぼろをバランス良く使用されていたからです。もちろん、味も非常に満足のいく美味しさでした。

今回のコラボレーションは、ポプラさんとしては話題づくりに、大学さんとしては大学をアピールする場に、そして私も大塚食品としては「マンナンヒカリ」の良さを広く皆さんに知ってもらえる良い機会になったと思っています。



若狭さんは商品について「口に入れた時に柚子の風味がふわっと広がります。男女問わず多くの皆さんに手にとってもらいたいです」とコメント。





大部先生と若狭さん。管理栄養士を目指す若狭さんにとって、大部先生のご存在は大きい。「これからは先生から多くのことを学び、立派な管理栄養士になりたいです」と若狭さん。



今回のおむすびに使用した大塚食品株式会社のマナンヒカリ。こんにやく精粉等を原料に新しく開発した米粒状の商品。お米に混ぜて炊くだけでおいしく食べられカロリーカットができる。



広島で開催された「発表会&試食会」の様子。優秀作品に選ばれた各大学の4名が出席し、メニューに込めた思いや開発エピソードを語りました。(右端が若狭さん)



参加したプレスからの質問にもしっかり受け答えしていた若狭さん。

Comment 3

「おふくろの味」が選ばれた。

大部 正代 教授



ゼミでは、生活習慣病予防に関する食習慣の実態調査を研究テーマにしています。減塩食を食べるのには香りが重要だと教えているのですが、チーズなどの味が濃い試作品が多いなか、若狭さんが柚子を使ったというのは、ゼミの授業が記憶に残っていてそれを実践してくれたものだと思います。

私が嬉しかったのは、「おふくろの味」で選ばれたということです。この作品は、家庭の中での食育がもたらしたもので、若狭さんの親

御さんにとっても喜ばしいことだと思います。難しかったのは商品として美味しいだけでなく、良い食材を使いつつも採算ベースにのせなくてはならないということ。管理栄養士を育成するための授業の中には、給食経営管理の勉強もありますがその勉強も生かされており、若狭さんのおむすびはトータルで優れていたと思います。

今回の受賞は若狭さんにとって自信になったと思います。これからもいろいろなことに挑戦しながらさらに勉強を頑張ってください。

Comment 2

多くの方に食してもらいたい。

若狭 恵子さん

(栄養科学部4年生)



中学、高校と陸上部に所属していたのですが、母がエネルギーと塩分補給のために、いつもそばろ入りのおむすびを持たせてくれていました。今回の商品を企画するにあたって、その思い出が出发点になりました。また、そばろおむすびを秋用にアレンジできないかと考えた時に柚子を

思い付きました。それから、柚子は味噌と合うのではないかと考えるようになり、今回のおむすびが完成しました。試作の時は自分

が理想とする柚子になかなか出会えなくて試行錯誤。探し回って柚子の皮のフリーストライを見つけて、そこでやっと自分の味に近づけることができました。優秀作品に選ばれた時は、一緒に頑張ったゼミの仲間から「よかったね」「おめでとう」という言葉をもらえて嬉しかったです。

今は、より多くの方に私が考案したおむすびを食べてもらいたいという思いで一杯です。ぜひ、ポブラに足を運んで味わってもらえたらと思います。店頭のPOPに私の顔が入っているのがかなり恥ずかしいのですが(笑)。

東日本大震災

災害ボランティア活動報告

昨年3月に起きた東日本大震災は、東北地方を中心に甚大な被害をもたらしましたが、本学においても災害ボランティアとして現地で活動する学生がいます。今回は今年の夏に被災地を訪れた高橋さんのインタビューをお届けします。



高橋 朋江さん
(人間発達学部3年生)

被災地の惨状に驚いた

東日本大震災が起きたのは、私が1年生の終わりの時期です。その頃は、それほどボランティア活動に関心があったわけでは無かったのですが、3年生になって、大学生活も落ち着いてきたこと、そして「社会福祉とボランティア」という授業を受けたこともきっかけとなり、自分の目で被災地を確かめようとボランティア活動に参加しました。

夏休みを利用して7月31日から8月4日まで、被災地に行きました。活動場所は甚大な被害があった宮城県南三陸町です。春休みに被災地でボランティア活動をした友人の紹介で、社会貢献共同ユニイテッド・アースという団体が行っている南三陸町復興応援プロジェクトに参加しました。南三陸町に着いてまず驚いたのはその惨状。道路は整備されつつあるものの、まだ震災の爪痕

がしっかりと残っていて、戦争後の焼け野原といった状態で、震災から約1年半経ったとは言え、まだまだ復興への道のりは長いと感じました。

カレーライスが

食べられない子どもがいる

私が参加した団体は、がれきの撤去ではなく、産業の復興と雇用の創出をテーマにしており、農林漁業のサポートがボランティア活動の主な内容でした。朝7時から夕方まで、農園の草取りや切り出された木材運びに加え、魚市場でも活動しました。夜は炊き出しの食事をした後、みんなで活動報告ミーティングを行うのですが、託児所での支援を行っている方から、給食にカレーライスが出ると、ご飯が陸地でカレーが津波に見えて食べることでできない子どもがいることを聞きました。いまだ子どもたちにも

震災のストレスが大きく、小学校教諭を目指している私にとってはとても考えさせられる話でした。

ボランティア活動を終えた時には、もともともとここで活動したいという気持ちで一杯になりました。

よく下調べをしてから被災地へ

被災地までの交通費は、大学の災害ボランティア活動助成を受けました。助成があることは、現地に行くことを決めてから知りましたが、私たちの活動に対して大学側が支援してくれていることは、本当に感謝しています。

これから被災地に行く人に伝えたいのは、多くの被災地で、現地が求めているものとボランティアがしたいこととの意識のズレが多いようですので、復興の本当の意味を考え、行く前にしっかり下調べをして欲しいということです。

被災地の復興への道程は険しく、まだまだ時間がかかるのが現状です。私も残された約1年半の大学生活の間に、時間をつくってもう一度被災地に行きたいと思っています。



活躍する卒業生

Graduate of Nakamura



株式会社タカギ
阿部 敏喜さん
平成15年度 中村学園大学
流通科学部 流通科学科 卒業

海外を舞台に仕事ができるのは、 大学時代の「やろうぜ!!」精神から。

中村学園大学在学中にインターンシップで中国へ行ったことがきっかけとなり、卒業後は香港の日系企業に就職し、それから8年間、合成樹脂の原料を販売する営業として勤務していました。日本に帰国して働きたいと考えていた折、当時担当していた取引先から株式会社タカギを紹介していただき、今年5月に入社しました。入社した理由は、浄水器事業や散水事業等に将来性を感じると同時に、前職で培ってきた知識や経験を活かすことができると思ったからです。

現在は、購買部資材調達課で海外のアカウント担当として、部材の安定供給と原価低減のために取り組んでいます。台湾、中国、イスラエル、オーストラリアなどの取引先に加え、ベトナムに自社工場もあり、ビジネスはワールドワイドです。

私自身も海外出張が多いのですが、前職の8年間で身に付けた中国語と英語を使って商談や打ち合わせを行う機会が多く、自分の経験をフルに活かしています。入社して約半年ですが、前線に立つて仕事をさせてもらっていることに、とてもやりがいを感じる毎日です。まだまだ慣れない部分も多いですが、海外生活に慣れていったように、日本でのビジネスにも早く慣れたいと思います。

今の私があるのは、大学時代のインターンシップ経験があったからこそ。海外でのインターンシップということで迷いもありましたが、ゼミの先生が「行って頑張つてこい」と背中を押してくださいました。私は流通科学部の1期生ですが、今思うと当時は、学部内の先生と学生が一緒に頑張って、みんなでこの学部をつくって

いくんだ」という気概に満ちていましたね。前例が無いなか、躊躇しないで「やろうぜ!!」という雰囲気でした。私のチャレンジ精神は、その時に養われたものだと思います。ゼミの先生の温かなご指導により、海外でも活躍できるビジネスマンへの道を示していただいたことには、今でも心から感謝しています。また、同じ1期生だった仲間とは、私の海外生活が長かったにもかかわらず今でも交流があり、私の財産です。

先輩の皆さんへお伝えしたいことは、時代のせいにせずに前向きに自分ができることを一生懸命頑張つて欲しいということ。私が卒業した時代も就職氷河期と言われていました。今も厳しい時代ですが、精一杯努力することで必ず道は開けてきます。私も日本式経営を学び、次の時代に合った新しい進化を遂げることができるよう成長していきたいです。さあ、やろうぜ!!



「海外生活で国際感覚と異文化を受け入れる広い心を培いました」と語る阿部さん。現在、北九州市に本社を置き、500名以上の従業員数を誇る会社で、その知識と経験をいかんなく発揮しています。

上司からのメッセージ



生産本部 購買部 部長
長野 徳浩 様

● 阿部さんについて

長く海外のビジネスで採られたからだと思いますが、積極性がありませんし、チャレンジ精神も持っていると感じます。阿部さんはキャリアとしての入社。つまりは即戦力です。個人の力を会社という組織の中で思う存分発揮してもらい、現在の、そしてこれからの会社を引っ張って欲しいと思っています。

● 就職活動全般について

これまで多くの面接を行ってきましたが、学生時代に、いかに「目的意識」を持って物事に取り組んだかを見ます。こういう目的でこの学部・ゼミを選びました、あるいはこういう目的で部活動に打ち込みましたなど、目的をしっかりと持って取り組んだことをアピールできる人材であって欲しいと思っています。プレることなく取り組んできたことは自信に繋がりますし、その自信は面接時にも表れると思います。

外見は真面目(?)ですが、
とってもシャイで
気さくな先生です!



短期大学部 キャリア開発学科 浦川ゼミ (2年生11名)



少子高齢社会において 若者が知っておくべき 知識を得る。

「社会政策と若者の暮らし」をテーマに、少子高齢社会という課題に対する若者の重要性・役割に目を向けていく浦川ゼミ。社会人になる前に、社会政策の知識を深めていくことがこのゼミのねらいです。



浦川先生の口癖
では、
質問です

特任教授
浦川 安宏 先生

浦川ゼミのテーマは、少子高齢化における若者のあり方と対応に関する社会政策の研究。まもなく社会人となるキャリア開発学科2年生が、年金、医療、社会福祉などの知識を深めています。

「日本は震災の影響もあって未曾有の経済危機に陥っています。そして、その復興は若い世代にゆだねられています。そこには少子高齢社会という課題もあります。今日の社会経済を支える若者の存在には、これまでにない重要性と役割が求められているのです」と語る浦川先生。学びのベースには、孵化する直前の「社会人の卵」である学生に、社会政策の知識を広め、社会に出てから困らないようになつてもらいたいという思いがあります。

現在、ゼミで議題として取り上げているのは年金のこと。「年金のことはお年寄りのイメージがあるかも知れませんが、払うのは20歳から。つまりは、今のゼミ生

たちが年金に関わってくる年齢なのです。若者は携帯電話の月々の支払いは気にするけれど、それより高いお金を480カ月も支払う年金を気にする人が少ないですよ」と、浦川先生はゼミ生に年金問題を身近な課題だと捉えて欲しいと考えられています。

年度内に20歳になるゼミ生は「年金のことについて自ら進んで勉強することはないですから、このゼミはとでもためになつていきます。私自身、国民年金の保険料を支払うのか学生免除にするのか、すごく考えさせられました」と、学生の実情に則したゼミ内容が、自身の生活にも役立つというようです。

授業は、浦川先生の質問することに学生が答えるという進め方です。先生が答える学生を指名するのではなく、何人もの学生が自然と答える形で、活気に満ちた会話のキャッチボールで授業が進みます。ゼミ生も「先生と一緒になつて授業をつくる感じ」です。毎回、楽しみながら、集中して学ぶことができている」と語ります。

社会人として知っておくべき知識を身につけた人材を社会に送り出すことを目的とした浦川ゼミ。先生は学生たちの積極的に学ぶ姿勢をしっかりと受け止め、「次代を担うのは学生たち。みんな、自立した社会人になつてもらいたいですね」と最後に語ってくださいました。

クラブ & サークル

CLUB & CIRCLE

空手道部

◎部員数/12名
(男子2名・女子7名・マネージャー3名)

◎部長/西山 和寛
(人間発達学部3年生)



練習中でも時々笑顔がこぼれます。
女子部員曰く「空手道部の魅力はアットホームなところだ」。



女子部員には大学から空手を始めた人も多数。先輩が後輩に丁寧に指導している姿も見られます。



抜群の集中力で、 短い練習時間を最大限に活かす

男子と女子が一緒に練習している空手道部。
部員それぞれが、強さを求め、練習に気合いが入ります。

創部してからおよそ10年の空手道部。毎週月、水、金の週3回、17時から19時まで、気合いの入った掛け声が練習場に響き渡ります。練習時間が短いのは、その方が密度の濃い練習が得られるという考え方からです。「短時間練習は部の伝統です。だからだるするより、短時間集中の方が絶対に良い。これは、空手道部の伝統です」と話すのは部長を務める西山和寛さん。実際に、空手道部はこの練習方法で結果を残してきました。

男子は5年前の九州インカレを制覇した経験もあります。また女子も近年はいつも九州大会で優勝を争う強豪校になっています。今の目標は、10月下旬に中村学園大学の体育館で行われる全九州空手道選手権です。上位に入れば、11月に日本武道館で開催される全日本空手道選手権大会に出場できます。女子は昨年も全国大会に出場しており、今年も期待がかかります。

そんな空手道部にも悩みがあります。それは女子の活躍とは裏腹に、ここ数年で男子部員が少なくなってしまう



本学で行われる全九州空手道選手権では実行委員長も務める部長の西山和寛さん。

こと。現在男子の部員は2名で、3名以上が必要な団体戦には出場できない状態です。「女子の頑張りのおかげで今の空手道部があります。男子を一生懸命勧誘していますが、ちょっと空手は怖いイメージがあるようですね。なかなか入部者がいません。空手は礼儀を重んじ、相手を敬う競技。精神的にも打たれ強くなるので、ぜひ初心者の方でも挑戦して欲しいです」と語る西山さん。

「厳しく、楽しく」を基本として日々練習に励む空手道部。将来は、男女ともに全国大会に出場して活躍できるように、ぜひ頑張ってください。

20th Anniversary of HOKUSAN



吹き抜けのメインロビー。窓の向こうには豊かな自然が広がり、開放感たっぷり。



約33,000㎡(10,000坪)の広い敷地に、宿泊棟と体育館がある「ほくさん」。

中村学園セミナーハウス「ほくさん」20周年!!

豊かな自然に囲まれた、宿泊・研修施設のセミナーハウス「ほくさん」が、今年、開館から20周年を迎えました。

平成4年にオープンした中村学園セミナーハウス「ほくさん」は、これまで20年の間、たくさんの学生や生徒、園児、教職員が利用してきました。

今では利用者は年間延べ8000名を超えており、大学・短期大学の学部・学科別の宿泊研修やゼミ合宿、中学・高等学校の勉強合宿や部活動の強化合宿のほか、幼稚園のお泊り保育が行われることもあります。近年は企業や他の教育機関がセミナーハウスを研修会場として利用することも増えています。開館から20年を経過しましたが、敷地内は手入れが行き届いており、背振の山々に囲まれた落ち着いた環境で充実した時間を過ごすことができます。

笑顔でお迎えします!!

富永 安雄・眞紀子 主事ご夫妻



私たち夫婦が「ほくさん」で勤務するようになったのは今年の4月からです。まだ半年ですが、20年間大切にされてきた施設を守らなければいけないという思いで頑張ってきました。宿泊する学生には、ここに滞在している時間は豊かな自然の中で気持ちよく過ごして欲しいので、より多くコミュニケーションをとることを心がけています。

「ほくさん」は研修施設であると同時に、楽しみ、そして心身をリフレッシュする場所です。学生の中には、ここで大切な仲間と寝食を共にしたことが一生の思い出になる人もいます。利用した学生が帰る際は、「宿泊じゃなくてドライブでもいいのでまた来てね」と声を掛けています。これからも、気持ちよく利用してもらえよう、訪れる学生を笑顔で迎えたいと思います。



体育館で練習する剣道部と中庭で練習する和太鼓部。和太鼓部の部員は「大自然の中なので、気がねなく大きな音を出すことができるのが嬉しい。空気がおいしいのもいいですね」と話していました。



手入れが行き届いた中庭には今年、あずまやが完成。夏はバーベキューで賑わいます。



宿泊する部屋からは、美しい山々や緑に包まれた北山ダムを一望することができます。

中村学園セミナーハウス「ほくさん」

【住所】
佐賀県佐賀市富士町
大字古場字井田1513番1号

【所要時間】
福岡から車で約1時間
(三瀬トンネル料金所から約15分)



テラススペースもある、広々とした食堂。天井も高く、ゆとりある空間。



主にゼミで利用されるミーティングルームのほか、定員100人以上の大研修室もある。

付属幼稚園 だより



子どもの行動を引き出す環境 あさひ幼稚園 中村 麻衣

7月末に、シンガポールにある Nanyang Technological University で開催された Pacific Early Childhood Education Research Association PECERA に参加しました。

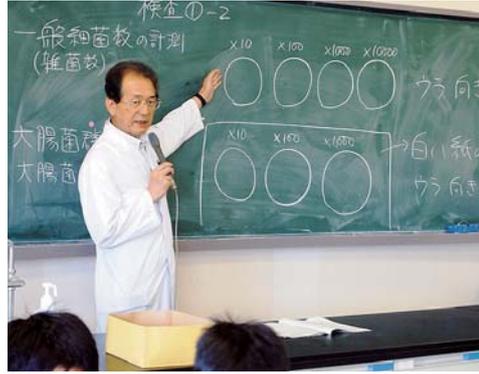
初めて訪れたシンガポールは、街並みや土地がとてもきれいで整備されているという印象を持ちました。

私が見学した「Kinderland (pre-school&child care centre)」(日本でいう認定こども園のような施設)は、0歳から6歳の子どもたちが生活をしていました。その園には華人・マレー系・インド系などさまざまな民族の子どもたちがおり、保育者が話す言葉は英語ですが、生活環境面への配慮としては公用語である英語による表記のほか、漢字による表記などが使われていました。

当然のことながら、環境の一つひとつに配慮がなされており、普段から見慣れている棚や壁などにも名称が分かるような表示が貼られていました。そうすることで、自分たちの身近にあるものに自然と興味を持ち、それを自分たちで表現することができる文字を身に付けていききっかけづくりがなされていました。

現在、私も「子どもたちが『思わずかかわりたくなる』ような環境づくり」を目指して、日々子どもたちとのやりとり(対話)の中で試行錯誤を繰り返しています。まず体を動かすことが大好きな子どもたちにとって、室内でもちょっとした運動ができるように工夫しました。保育室の床に幅跳びや垂直跳びができる空間をつくと、子どもたちは自分たちで目標を設定しながら毎日ジャンプをしています。また、自分たちが育てている植物の生長やお世話の様子の画像を壁面に掲示しました。それを見ることでその植物の変化(育ち)を考えたり、かかわったりできるような環境を意識しました。

保育者によるこの「試行錯誤」こそが、子どもたちの新たな学びや育ちの一步に繋がると信じて、これからもあさひ幼稚園の教育理念である元氣いっぱい体を動かす「つよい子」・動物や植物に触れて思いやりの気持ちを持つ「やさしい子」・好奇心を持ってさまざまなものにかかわって「かんがえる子」を育てていくために学び続け、成長し続ける保育者でありたいと思います。



城南区・中村学園大学共働事業

体験!納得!食品検査 食の安全・安心のリスクコミュニケーション

平成24年8月9日、10日の2日間に行われ、城南区と中村学園大学の共働事業「平成24年度 食の安全・安心のリスクコミュニケーション」が、中央本館食品衛生学実験室で行われました。

この事業は、区民の方が食の安全について漠然とした不安を持つなか、行政と大学が協力して、食品の安全に関する正しい知識の普及に努め、区民の方の食に

食物栄養学科 小田 隆弘 教授

対する安心を深めることを目的としています。小・中学生を含む約60名の参加者は、自ら食品等の細菌検査や細菌の顕微鏡観察などを体験し、食中毒予防のポイントなどを楽しく学びました。参加者からは熱心な質問がよせられ、身近な食品に対する関心の高さがうかがえました。食の安全・安心について理解を深めるよい機会となりました。

第39回公開講座

今年で39回目を迎える公開講座が開催されました。公開講座は、地域との共生という観点から、大学開放活動の一環として市民の方々に本学の教育・研究の成果を還元し、交流を深める目的で開催されており、今回は「暮らしを豊かにする知の世界」をテーマに3コースの日程で行われました。当日は多くの受講者が熱心に受講され、貴重な学習の機会となりました。

プログラム

テーマ「暮らしを豊かにする知の世界」

Aコース 10/6

開講式 学長 甲斐 諭

中村学園大学健康増進センター 客員専門職員

大分医科大学 名誉教授 坂田 利家

1. あなたの食べ方は壊れていませんか

食欲を抑え、内臓脂肪を燃やす

食べ方を身につけよう

教育学部 准教授 橋本 義徳

2. 教育よもやま話

Bコース 10/13

流通科学部 講師 中川 宏道

1. 上手なショッピングをするための心得と知識

消費者心理学の知見から

栄養科学部 准教授 三堂 徳孝

2. 食と健康「朝食のちから」

メニューに見るプロのウラ技

Cコース 10/20

短期大学部幼児保育学科 講師 中村 宏子

1. 健やかな乳幼児の育ちのために

短期大学部食物栄養学科 講師 内田 和宏

2. 食事パタンと生活習慣病



敬称略 肩書き等は開催日現在のもの

第21回アジア栄養科学ワークショップ

平成24年10月6日、西1号館10階大講義室において、第21回アジア栄養科学ワークショップが開催されました。

本ワークショップは平成4年より大学院栄養科学研究科の主催にて毎年実施されており、学内の教職員のみならず、学外の研究者や市民の皆さまにも多数ご参加いただいています。

本年は「海洋生物を汚染する水銀および高残留性有機物質(POPs)」をテーマに左記プログラムの内容で、各分野で活躍の多彩な先生方をお招きし、専門的な視座から講演が行われました。会場からは質問も多数出るなど、充実したワークショップとなりました。

プログラム

- 【司会進行】 栄養科学部 講師 太田 千穂
- 開会の辞 栄養科学研究科長 教授 中野 修治
- 講演 【座長】 栄養科学部 教授 古賀 信幸
1. 魚介類の水銀汚染について - 妊婦さんへの摂食注意 -
北海道医療大学薬学部 准教授 遠藤 哲也
 2. 韓国における海洋生物のPOPs汚染
国立釜慶大学 教授 玉 坤
 3. 東アジアの海洋生物が生産する
有機ハロゲン化合物の動向と起源
第一薬科大学 教授 原口 浩一
- 討論会
- 閉会の辞 栄養科学研究科長 教授 中野 修治

敬称略、肩書き等は開催日現在のもの



玉 坤 先生



遠藤 哲也 先生



原口 浩一 先生

「中村学」開講

平成24年9月25日、大学教養教育科目「中村学」の授業が行われました。

本科目は、大学1〜4年次を対象に、本学の歴史や建学の精神を理解すること

で、本学学生であることの誇りとアイデンティティの醸成を図ることを目的としています。この講義では、毎回、本学に深く関わっている方をゲストスピーカーにお招きします。

この日は、「建学の精神」について、をテーマに、学校法人中村学園の中村量一理事長にご講義をいただきました。中村量一理事長は私立学校の「建学の精神」についてお話しされ、自らが卒業された慶応義塾大学の建学の精神「独立自尊」を用いて、「建学の精神」は私立学校にとつての存在理由であり、時代が変化しても引き継がれるべきものであると説明されました。



「食と栄養と健康」ダイエットを科学する」開講



福岡大学、福岡歯科大学、中村学園大学(地下鉄七隈線沿線三大学連絡協議会・平成19年発足)は、共同開講授業科目として「食と栄養と健康」ダイエットを科学する」を開講しました。

8月22日、23日の2日間、本学にて中村学園大学栄養科学部藤田学部長、森山教授をはじめ、福岡大学医学部柳瀬教授、藤本講師、福岡歯科大学歯学部尾崎教授、金光教授の計6名の先生方による集中講義が行われ、食と栄養と健康のさまざまな角度からダイエットを科学的に考察する講義が行われました。

共同開講は今回が初めての取り組みで、1単位を取得でき、3大学で合計148名の学生が受講しました。

中村学園高大連携推進委員会主催 大学・短期大学部生と併設高校生との 交流ワークショップ

平成24年8月4日、中村学園高大連携推進委員会の推進事業「大学・短期大学部生と併設高校生との交流ワークショップ」が開催されました。今回は、昨年度に引き続き第2回目の開催です。

「中村学園大学、中村学園大学短期大学のキャンパスライフ」をテーマとし、大学・短期大学の各学科から選出された16名の学生が、併設校である中村学園女子高等学校・中村学園三陽高等学校の生徒約200名の前で、「高校生のうちに身につけておいた方がよいこと(勉強方法、生活習慣)」「大学・短期大学部で何を目標して勉強しているか」「大学生と高校生とのライフスタイルの違い」等について自身の体験を交えながら紹介しました。

パネルディスカッション形式での質疑応答の時間も設けられ、身近な先輩との非常に有意義な交流の場となりました。併設高校生にとつて将来の進路やキャンパスライフをイメージする良い機会となったようです。



中村学園大学同窓会による 奨学金制度のお知らせ

中村学園大学同窓会では、中村学園大学に在籍する学生の皆さんを対象とした新しい奨学金制度を制定いたしました。この奨学金制度は、中村学園大学の学生のリーダー的人材育成のための勉学奨励並びにスポーツ・文化活動の向上に資することを目的としています。対象となるのは、中村学園大学に在籍する学生及び学内の団体のうち、同窓会が認定した学業成績を収めた者、または同窓会が認定した各大会等で優秀な成績を収めた個人または団体です。（短期大学部生、大学院生、留学生は、対象となりません。）奨学金は、返還の義務がない給付型で、同窓会の審査により、給付額と人数を決定します。

募集要項等詳細については、本学・生活支援オフィス（学生課）までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】学生課

TEL 092・851・2593

Eメール gakusei@nakamura-u.ac.jp

中村学園大学付属おひさま保育園 屋上整備工事の竣工式

本学付属おひさま保育園の屋上に運動場兼プールが整備され、平成24年7月24日に竣工式が行われました。

おひさま保育園は平成16年4月に開園、おひさま保育園の名に相応しい太陽をイメージした建物や、常時明るい光が入るサンルームや保育室など、園舎は光と色と形が程よく調和されています。

竣工式の後に行われたプール開きでは、園児たちが目を輝かせながら夢中で遊び、無邪気な歓声を上げていました。



外部資金受入れ状況

受託研究

【研究者】 甲斐 諭 教授 (流通科学研究所・所長)
【研究課題名】 菓子文化の向上や地域活性化への貢献を模索する
【企業名等】 株式会社ひよ子
【金額】 1,000,000円

【研究者】 甲斐 諭 教授 (流通科学研究所・所長)
【研究課題名】 黒大豆(筑前クロダマル)及び加工食品を核とした「筑前町産農産物のブランド化」のために必要な調査・研究
【企業名等】 筑前町
【金額】 1,000,000円

研究助成

【研究者】 三成 由美 教授 (栄養科学部)
【研究課題名】 健康に寄与する薬膳メニューの研究開発
【企業名等】 西部ガス株式会社総合研修所
【金額】 1,500,000円

2012夏の オープンキャンパス開催

平成24年8月11日、25日の両日、大学及び短期大学部において、「2012夏のオープンキャンパス」を開催しました。2日間で4,772名の受験生・保護者の方々が来場され、大盛況のうちに終了しました。教員や在学生による相談コーナーや模擬授業、入試の傾向と対策講座、クラブ・サークル紹介、スタンプラリーなど、本学の教育内容や特色について理解を深めるためのイベントが催されました。春のオープンキャンパスは、平成25年3月16日に開催します。



オリジナル 電波時計設置

平成24年9月9日、西2号館食育館に電波時計が設置されました。



この時計は、平成23年度卒業生から寄贈された卒業記念品の一つで、学園のシンボルマークをデザインに施しており、食育館利用者の目につきやすい東西2カ所に備え付けています。



音楽館・体育館の耐震補強工事で CFT構造賞を受賞

本学の音楽館・体育館耐震補強工事が、社団法人新都市ハウジング協会の平成24年度CFT構造賞を受賞し、7月9日、中村理事長に賞状とメダルが授与されました。

今回の耐震補強には、ブレース（筋かい）にCFT（コンクリート充填鋼管）部材を使用しています。CFT構法は、高軸力の特性を活かすことで従来構法に特有の外枠H形鋼を不要とし、大幅なコスト削減を図っています。この設計には、九州大学大学院准教授の中原浩之氏にアドバイスをいただき、鹿島建設にて実施設計がなされました。

今回の音楽館・体育館の改修工事では、内外装の改修をはじめ、各音楽室の機能的な配置換えやバリアフリー対策の工レベータ設置が施され、学生の皆さんにより親しまれる校舎へ生まれ変わりました。



中村 量一理事長と九州大学大学院准教授 中原 浩之氏



記念メダルと賞状



CFT ブレース外観

教員の表彰等

「Best Reviewer Award (優秀査読者賞)」を受賞



山田 啓一 教授

平成24年7月、山田啓一教授流通科学部がInternational Conference on Business and Information (BAI) からの Best Reviewer Award (優秀査読者賞) を受賞しました。この賞は、本会議に投稿された予稿論文(英文)の査読者の中から選ばれた者が受賞するものです。山田教授は、過去に2010年にもこの賞を受賞したほか、2007年に Best Paper Award (優秀論文賞) を受賞。このほか、本学会の大会委員のメンバー及び ATISR が発行する英文学会誌 Contemporary Management Journal (CMJ) の Editorial Board (編集委員会) のメンバー (International Co-ordinates) でもあります。

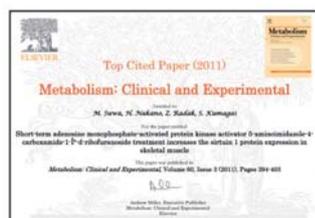
Information (BAI) : International Business Academics Consortium (IBAC) の Academy of Taiwan Information Systems Research (ATISR) の2つの学会が運営して、アジアの各地で毎年開催されている世界45カ国以上、200名以上の研究者が集まるビジネスと情報に関する国際会議。2004年に第1回の大会が台北で行われた後、香港、シンガポール、東京、ソウル、クアラルンプール、北九州、バンコクで開催され、今年は札幌で開催されました (BAI2012 Sapporo)。

「Top Cited Paper (2011) in Metabolism: Clinical and Experimental」を受賞



中野 裕史 准教授

平成24年7月、中野裕史准教授(教育学部)が Elsevier (オランダ・アムステルダムを本拠とする国際的出版社) から2011年に学術誌 Metabolism に掲載された論文の中で自身の論文が被引用回数1位になったとついで表彰されました。本論文は、長寿や認知機能に関連する SIRT1 タンパクの発現が、AMPK の活性



化により生じ、さらに遅筋ではなく速筋でのみ生じることを明らかにしたものであり、どのような運動が長寿や認知機能に効果的であるのかを考える一助となるものです。

米国政府 E-Teacher Special Education (特別支援教育) コーススカラーシップ獲得



津田 晶子 講師

平成24年9月、津田晶子講師(短期大学部食物栄養学科)が米国政府とオレゴン大学による選考を経て米国国務省教育文化局主催「E-Teacher スカラシッププログラム」に選出されました。平成24年10月より10週間の英語教育における Special Education (特別支援教育) コースに参加し、世界各国から選抜された大学英語教員、教員養成担当の教員、官僚と共に、地域や国レベルでの特別支援教育のプログラムに取り組みます。

玉竜旗高校剣道大会

平成24年7月30日、中村学園女子高等学校剣道部が玉竜旗高校剣道大会にて優勝しました。

7月26日にマリンメッセ福岡で行われた決勝戦では、筑紫台高校との地元対決となり大将戦にもつれ込みましたが、見事5年ぶり3回目の優勝を成し遂げました。



剣道部員と岩城監督

中村学園女子高等学校優勝報告

中村理事長への報告の様子

高校総体 ソフトテニス女子団体

平成24年7月に北信越で行われた全国高校総体ソフトテニス女子団体にて、中村学園女子高等学校ソフトテニス部が15年ぶり3度目の優勝を飾りました。



ソフトテニス部員と外園監督



教員の出版物

著者は、本学教員のみ記載、() 内は出版社、発行年月



「都市と農村の一体化及び商品流通システムの構築」(中国語訳)

甲斐 論 流通科学部・教授 共著
徐 涛 流通科学部・准教授
(经济管理出版社 中国 平成24年1月)



『ワークショップ型校内研修』充実化、活性化のための戦略&プラン43

田村 知子
栄養科学部 共著
(教育開発研究所 平成24年5月)



「13歳からの道德教科書」

占部 賢志
教育学部・教授 共著
(育鵬社 平成24年2月)



「家庭で味わう 上毛ふるさとの味 郷土食レシピ Vol 2」

三成 由美 栄養科学部・教授 共著
北原 詩子 栄養科学部・助手
(上毛町 上毛町教育委員会 平成24年3月)



「語り継ぎたい美しい日本人の物語 - 日本人なら知っておきたい日本の偉人 -」



占部 賢志
教育学部・教授 単著
(致知出版社 平成24年8月)

このプログラムには世界各国の米国大使館から推薦された英語教育のプロフェッショナルのみが参加でき、eラーニングにより最新の英語教育のメソッドやテクニックを学びます。また、参加者には、通常は交流が難しい米国の英語教育界の権威と直接、アクセスする機会が提供されます。

教職員の動き

採用人事 (平成24年10月1日付)



教務課課員 田中 理奈



学部・大学院事務室室員 石川 貴絵

配置換え人事 (平成24年10月1日付)
情報処理センター事務室室員

植村さおり (教務課課員)



燃やせ! 三陽ボランティアリズム!

～東日本大震災・九州北部豪雨ボランティアを通して～

今期の生徒会活動の大目標として掲げられた「燃やせ!三陽ボランティアリズム!」。その集大成として「東日本大震災視察ボランティア」が7/20～23の日程で実施された。参加したのは、中学高校生徒会役員をはじめとした18名の有志生徒と、9名の教師。仙台市近郊の名取市閉上の地まで、貸し切りバスで20時間をかけての大移動。NPO法人ロシナンテスのお世話で、現地の復興ボランティアをはじめ、閉上の被災の状況を視察し、いま自分たちになにができるのかを考える絶好の機会に恵まれた。



■ 気仙沼
■ 仙台
× 震源地 マグニチュード 9.0
■ 福島第二原子力発電所

視察地域 閉上近辺

東日本大震災 視察ボランティア

● 日程 7.20～23 (3泊4日)
● 視察地域 宮城県名取市閉上近辺

東京 ■

【旅程】●7.20(金)12時[中村三陽出発]→車内泊→●21(土)9時[現地着後ボランティア活動(山元町)]→14時半[語り部(被災者)による被災地巡り(閉上地区)]→17時[被災経験・被災者による講演(避難所・仮設住宅での生活体験など)]→18時[避難所での初期の食事体験]→19時[支援活動に関する講演]→●22(日)5時半[ランゾウ体操、日和山にて清掃活動]→7時(ゆりあげ港朝市見学)→8時半[閉上地区の復興に関するワークショップ]→11時半[炊出しによる昼食]→13時半[ボランティア活動]→17時[仙台出発]→車内泊→●23(月)13時半[中村三陽到着]



現地入りした生徒たちの表情。山元駅にて集合の様子。近くの保育園では、馴染める津波に気づかなかった保育園の園児が犠牲になった。



名取市閉上地区で実際に被災した方々に現地を案内してもらった。漁港として賑わっていた場所は、夏草の生い茂る見渡す限りの野原と化していた。



宿泊所は当時実際に避難所として使われていた名取市閉上の集会所。NPO法人ロシナンテスの大嶋一馬氏による講演の様子。



この企画に参加した本校以外の方々と協力しながら、避難初期の食事体験。一人2つずつのおにぎりとたくあんを全員でいただいた。



日和山・閉上漁港付近のごみ拾い。一見、すべてが流されたかのように見えた場所からは、ごみ袋にして数十袋ものごみや瓦礫が短時間のうちに集められた。



山元町に戻り、住居跡地の整地作業。耕しても耕しても、延々と続く作業に、復興の道のりの遠さを実感する。

九州北部豪雨 復興ボランティア「三陽生 星野村復興応援隊」

7月の東北震災ボランティアに向かう直前に起きた九州北部豪雨による大災害。東北震災ボランティアに参加した生徒からはもちろん、東北には参加できなかった生徒からも、同じ九州人として「九州北部豪雨被災地への復興支援」に行こうという声があがった。参加したのは、有志生徒22名と教師5名。本校OB保坂俊平さん(熊本県立大学在学中)が、「星野村の町おこし」をテーマとして研究に取り組んでいることが縁で、保坂さんの仕切りで八女市星野村の復興支援に向かうことになった。

被災して約1ヶ月を経た現地の惨状は、ひどいものであった。メディアなどでもさまざまに伝えられているが、こうした自然の猛威により被災した方々の憤り、不安といったやり場のない感情とボランティアに向出した私たちがどう向き合ったらよいのか深く考えさせられた。

「出来ない理由としない理由を考えるのではなく、出来る方法を考えることが大切なのだ」(OB保坂語録)…世の中には、難解な課題が山積しているが、そうした課題にもっと前向きに向き合っていく方法もきっと山ほどあるのだ。



自宅の地下に溜まった泥石を皆で手分けしてかき出す作業。汗かたです。



星野川の氾濫により崩れ落ちた道路の惨状。



千々谷河川公園を子供たちが遊べるような場所に戻すために、清掃活動の様子。



土石流となって崩れ落ちた山肌の様子。

平成25年度
入試要項

小人数ハイレベルクラスで 難関国立大学合格をめざす。

九大以上の難関国立大学現役合格を目指す「スーパー特進Vコース」が、平成24年度からスタートしました。選択講座制を導入するなど、一人ひとりの進学目標に対応し、きめ細かく指導します。奨学金制度も充実し、生徒の夢実現を支援します。

平成25年度入学試験のお知らせ

【中村学園女子中学校】

区分	前期入学試験(一般入試・スカラシップ入試)	後期入学試験(一般入試・スカラシップ入試)
募集人員	50名	10名
試験日	平成25年1月6日(日)	平成25年1月14日(月・祝)
試験科目	4教科(国語・算数・社会・理科)	2教科(国語・算数)
出願期間	郵送:平成24年12月20日(木)~12月28日(金) *消印有効 窓口受付:平成25年1月5日(土)	郵送:平成25年1月9日(水)~1月11日(金) *消印有効 窓口受付:平成25年1月11日(金)・1月14日(月)



【中村学園女子高等学校】

区分	専願入試	前期入試	後期入試
募集人員	スーパー特別進学コース 5名 特別進学コース 5名 一般進学コース 120名	20名 50名 185名	5名 15名 15名
試験日	平成25年1月22日(火)	平成25年2月1日(金)	平成25年2月9日(土)
試験科目	国語・数学・英語・面接	国語・数学・英語・理科・社会	国語・数学・英語
出願期間	平成25年1月16日(水)~1月18日(金)	平成25年1月24日(水)~1月30日(水)	平成25年2月6日(水)~2月8日(金)

募集要項・願書請求及び問合せ先

〒814 0103 福岡市城南区鳥飼7 10 38
中村学園女子中学校・高等学校 広報部
TEL: 092 831 0981(代) FAX: 092 831 0985
[ホームページ] <http://nakamura-njh.ed.jp/>



中村学園女子中学校・高等学校

中村学園三陽中学校

がんばり
評価入試



三つの
基本

多様な個性の集まり
がんばり評価入試

基礎学力の徹底
ドリル学習の導入

生活習慣の確立
学校給食の実施

入試日程

A日程【専願入学試験・一般入学試験】
平成25年1月6日(日)
出願期間:平成24年12月19日(水)~12月28日(金)
B日程【一般入学試験】
平成25年1月19日(土)
出願期間:平成25年1月16日(水)~1月18日(金)
詳細については、お問い合わせください。

中村学園三陽中学校は、“私立のふつうの中学校”です!

学力向上を図っていくことはもちろんですが、本校では、主に学力向上に重きを置くいわゆる有名私立中学校とは性格を異にする“私立のふつうの中学校”を目指します。その姿勢のひとつとして、中3で高1の範囲を学習するような先取り学習はしません。その分、本校では、「自然との共存」三陽でこんなことが出来るようになりました!」をテーマに、多くの行事を経験します。進路選択が、多くの場合学業成績の優劣を基準になされる昨今、本校では、前述のような中学校時の原体験が進路選択の基準となるような教育活動を行っています。

みなさん、小学校6年間に一生懸命に頑張ったことが何か一つはあるのではないですか。その頑張りを評価するのが、このがんばり評価入試です。「大会で優勝した」「段位を取った」も評価の対象ですが、「試合には負けたが3年間休まず精一杯練習に励んだ」「学校を6年間皆勤した」など様々な頑張りを評価します。

すなわち、テストの成績では評価されない皆さんの輝きを評価する入試です。

中村学園卒業生の皆さん、三陽中学校への応援よろしくお願ひします!

中村学園三陽中学校

福岡市西区今宿青木1042 33 TEL 092 882 6611(代) FAX 092 882 4387
<http://www.nakamura-sanyo.ed.jp>

2012年10月15日刊行!!

しっかり食べよう 「一汁三菜」

中村学園の学生食堂〈食育館〉レシピ

4年間で100万食の実績を持つ、
中村学園の「食育館」のレシピを大公開。

大切なのは「栄養バランス」と
「エネルギー摂取量」です!

バランスのよい食事は
「一汁三菜」から!

- ✓中村学園ならではの「一汁三菜」に基づいた
バランスのよい理想的な食事が盛りたくさん。
- ✓おいしさはもちろんのこと、栄養バランスの
よさも抜群で「簡単なエネルギー摂取量
(カロリー)の調整方法」「お弁当への応用
方法」などのレシピをオールカラーでご紹介。
- ✓「年齢別の食生活アドバイス」や「ちょっと
した調理のコツ」など、普段の料理に役立つ
コラムも充実。
- ✓中村学園の「食」に対する取り組みもご紹介。

「一汁三菜」とは

室町時代に確立した「五器盛り」を基本とする、昔ながらの日本の食事の方式。本膳料理の中でも一番質素な形。汁物1品(一汁)と主菜1品+副菜2品(三菜)で構成されている。栄養バランスの取れた献立はどれも理想的な食事とされる。



「食育」で著名な中村学園は、国内でもトップクラスの管理栄養士・栄養士養成施設です。「何を・どのように・どのくらい食べるか」が重要であると考えており、食育推進に力を入れています。本書は、4年間で100万食の実績を持つ中村学園の学生食堂「食育館」が提供する「一汁三菜」を中心とした理想的な栄養摂取のためのメニューをご紹介しているレシピ集です。

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 編
B5判 96頁 オールカラー 並製 本体価格 1,200円
発行:丸善プラネット 発売:丸善出版
ISBN:978-4-86345-133-9 C0077 2012年10月刊行

お問い合わせ先 生活支援オフィス(学生課) TEL092-851-2593

広報誌セロリの定期購読について

定期購読をご希望の場合は、購読料(2年分)として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・電話番号を書いた紙片を同封のうえ、学事課宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回(4・7・10・1月)となります。保護者の方には毎号送付しています。

[申込み先]

〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1
中村学園大学 学事課「広報誌定期購読申込」係